

問題

- 一次検診で、「がん（疑い）」の所見について「要精密検査」以外（要診察、要治療、要経過観察等）の指示がされる事例がある。（逆の事例も存在する）



『検診』と『診療』を区別できていない可能性

市町村が作成している検診結果報告様式が統一されていないことに伴う「結果→指示」のばらつき

正確な精度管理評価を行うことができない

対応案

認識・様式の統一化

検診結果報告様式の作成



期待できる効果

市町村・医療機関ごとのバラツキが無い
正確な集計結果による精度管理の向上



がん検診のあるべき姿

「質の高い検診」の提供

<スケジュール>

- 様式案の**項目**検討（令和5年度がん部会）
- 様式案の**最終**検討（令和6年度がん部会）
- 様式案の**承認**（令和7年度埼玉県生活習慣病検診管理指導協議会）

検診結果報告書の流れ_概要版（想定）

